

平成 13 年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] 障害者社会活動推進事業 (104)

[評価年月日] 平成 12 年 9 月 30 日

[主担当部課名] 健康福祉部障害保健福祉課

[記入課名・課長名・電話] 障害保健福祉課長 長坂 裕二 059 - 224 - 2277

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策： 健やかな生活の確保 (-2)

施策： 高齢者や障害者が活動できる環境づくり (1)

総合計画の目標項目：手話通訳者・要約筆記奉仕員登録者数、点訳奉仕員・朗読奉仕員登録者数、ガイドヘルパー登録者数

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策：人権施策の総合推進

2 基本事務事業を巡る環境変化(過去 現状 将来)

ノーマライゼーション、バリアフリー等の理念の普及が進む。

障害者の主体性、自立意識が益々高まるとともに、各分野への社会参加が促進される。

身体、知的、精神の3障害に対する総合的な福祉施策が最も身近な市町村で展開される。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたいのか)

在宅障害者の社会活動への参加と自立を一層促進し、より満足度の高い生活をおくるための総合的な環境づくりを図る。

3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には*を付す)

障害者の満足度 事業認知者 / 対象人員 × 利用者 / 事業認知者 × 満足者 / 利用者
(代)市町村障害者社会参加促進事業実施率

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明(指標動向に影響する要因 指標の有用性 設定の理由など)

障害者に最も身近な市町村で障害者社会参加促進事業を数多く展開することになれば、成果の向上が図れることから設定した。

3-(4) 結果(施策における 2010 年度の目標)

障害者が、意欲や能力に応じて様々な活動に参加でき、いきいきとした毎日をおくっています。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

障害者があらゆる分野で意欲や能力に応じて参加できるための環境づくりが必要であり、場や情報の提供を進めるとともに、各種奉仕員の養成・派遣、移動支援などを推進した。従前身体及び知的の障害毎に実施していたスポーツ大会を平成 10 年度に統合し実施することとなったが、同年度に障害の区別を設けることなく創設したスポレク祭事業の進展もあり障害者間や健常者との交流はある程度定着しつつある。障害者スポーツの発展と社会の理解、認識を深めることができた。

前年度に残った課題

3 障害総合の施策を推進することとなったが、事業の展開が十分でない。手話奉仕員及び手話通訳者の養成カリキュラムが示されたことへの対応

4-(2) 本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価**本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果**

聴覚障害者の聴く権利、知る権利を保障するため、要綱に沿った手話奉仕員等養成事業の充実とスポレク祭への精神障害者の参加、知的及び精神障害者のボランティア活動の支援をすることで障害者の社会参加の総合的かつ効果的な推進が図られつつある。

本年度残ると思われる課題

市町村障害者社会参加促進事業の実施箇所数の増。社会参加を支援する人材の養成、確保等について市町村の取り組みが未だ不十分であり、県が引き続き関与し充実を図る必要がある。平成11年4月に示された要約筆記奉仕員養成カリキュラムに沿った養成。障害者スポーツの一層の振興を図る必要がある。重度障害者も多いことから障害者福祉施策を総合的に情報提供する必要がある。また、ガイドヘルパーネットワーク事業の利用者増を図る必要がある。

5 基本事務事業の改革方向

障害者の社会活動を更に推進していくためには、障害者にとって最も身近な市町村において、きめの細かいサービス事業を展開する必要があることから、市町村障害者社会参加促進事業の実施箇所数の増加を図る必要がある。併せて障害者が社会活動に参加し、その自立を一層促進するためには、市町村事業との区分を明確にし、県事業としてより専門性の高い総合的な環境づくりを図るとともに、身体、知的、精神障害者に共通する事業については、一体的に推進する。

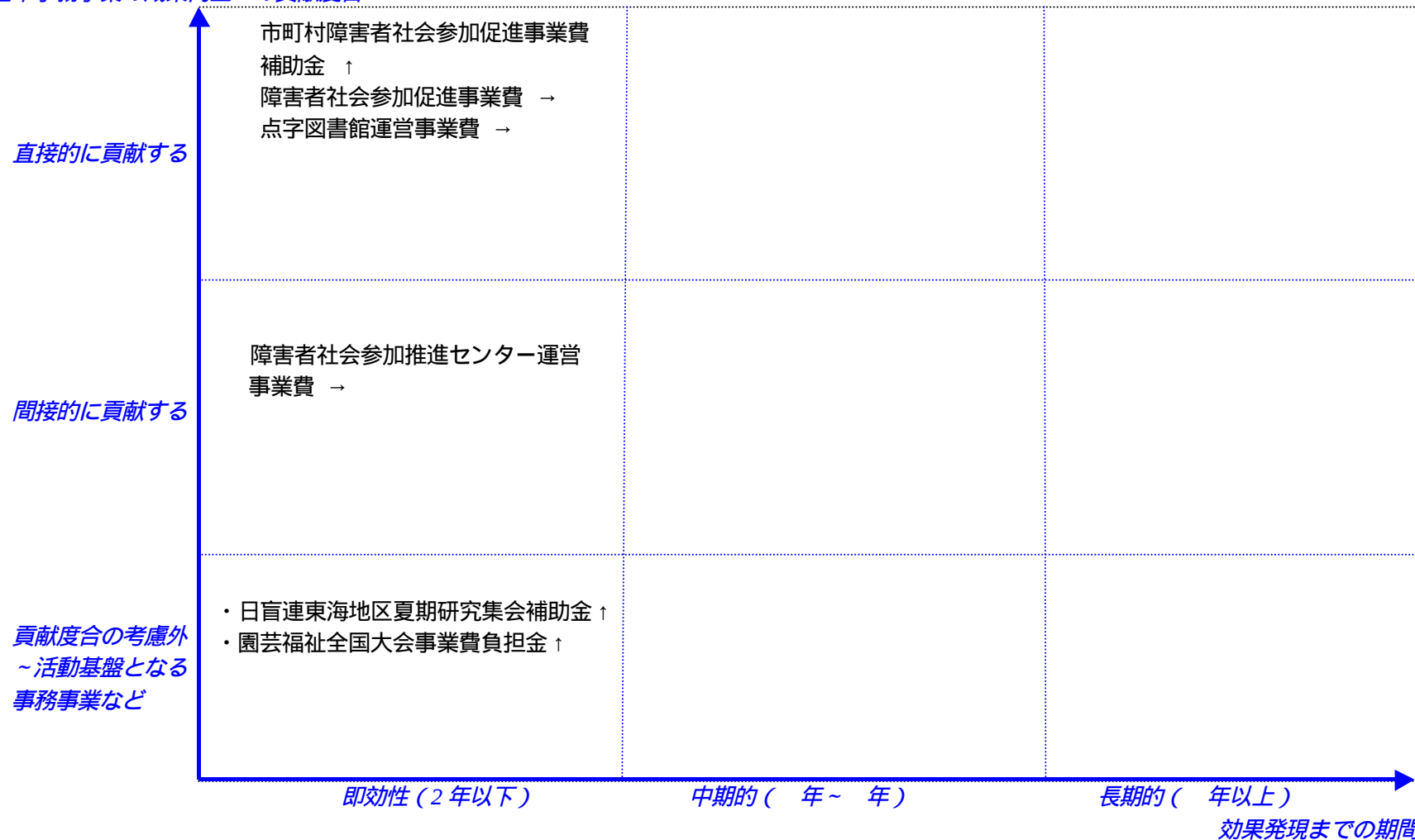
6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円)	必要概算 コスト(千円)
	目 標	実 績		所要時間(時間)	
前々年度 (H10年度)	0.4	0.4	4	146,292 1,570	152,854
前年度 (H11年度)	0.6	0.4	6	148,007 1,932	156,025
本年度 (H12年度)	0.8	0.6	8	155,429 2,568	166,188
本年度補正後 (H12年度)				+ , ±	+ ,
翌年度 (H13年度)	1.0	——	10	171,275 2,598	182,160
計画目標年次 (H13年度)		——	10	——	——

7 翌年度(H 1 3 年度) の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM : Project Portfolio Matrix)

< 必要概算コスト： 5 億円以上 ~ 1 億円 ~ 5 千万 ~ 1 千万 ・ 1 千万未満 * 休止・廃止 >

基本事務事業の成果向上への貢献度合



各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

基本事務事業名：障害者社会活動推進事業

4/4

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

事務事業名 (担課課)	意図の指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (±千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (±時間)
障害者社会参加促進事業費 (障害保健福祉課)	障害者計画達成率	在宅障害者が地域生活の中で自立し、社会参加ができるよう相談支援、情報支援、生活訓練、スポーツ振興等地域交流支援、啓発広報等の事業を行う。	56,542	- 189	2,036	0
障害者社会参加推進センター運営事業費 (障害保健福祉課)	障害者社会参加事業実施要望の的確・実現度	障害者の社会参加促進事業を効率的に実施するため、統括的機能を持つセンターを設置する。 委託先 三重県身体障害者福祉連合会	10,004	- 68	120	0
市町村障害者社会参加促進事業費補助金 (障害保健福祉課)	障害者の社会参加度	市町村が地域の実状に応じて、コミュニケーションの確保、移動支援、生活訓練、スポーツ振興等の社会参加促進のためのメニューの中から選択し、総合的に実施する事業に対して助成する。	39,536	11,588	312	0
点字図書館運営事業費 (障害保健福祉課)	点字図書館利用率	点字図書及び録音図書の閲覧、貸し出し等を行い、併せて点訳・朗読奉仕事業等の指導育成、図書の奨励及び相談事業を行う三重県点字図書館の運営とともに、社会福祉法人が設置する点字図書館に運営費を助成する。	64,520	3,842	100	0
(新)日盲連東海地区夏期研究集会補助金 (障害保健福祉課)	参加率	平成13年度三重県で開催される「日盲連東海地区夏期研究集会」に対し開催経費の一部を補助する。	100	100	10	10
(新)園芸福祉全国大会事業費負担金 (健康福祉政策課)	参加率	園芸を通じて高齢者や障害者の心身の健康の維持増進等を図ることを目的に三重県で開催される「第1回園芸福祉全国大会」の経費の一部を負担する。	573	573	20	20